

2024 年 8 月 22 日作成

《情報公開文書》

テストステロン補充療法を施行した小陰茎患者における
陰茎長・亀頭幅の増大効果や副作用に関する臨床的検討

研究の概要

【背景】

陰茎サイズには個人差がありますが、月齢や年齢における陰茎の平均値がわかっており、その平均値より大幅に陰茎サイズが小さい場合（具体的には $-2.5SD$ （standard deviation：標準偏差）未満）に小陰茎と診断され、テストステロン補充療法が実施されます。一方で、テストステロン補充療法では副作用として思春期早発症を引き起こす可能性があるため、男児では年齢基準に比して身長伸びが悪かったり、成長段階にそぐわない陰毛の発育が認められることがあります。

【目的】

本研究では、当院で小陰茎に対するテストステロン補充療法を受けられた患者さん方を対象として、その治療過程で得られた医学的情報を検討することでテストステロン補充療法の治療効果（陰茎長や亀頭幅のサイズ変化）や副作用を調査します。

【意義】

小陰茎に対するテストステロン補充療法での具体的な陰茎サイズの変化がわかるとともに、これから治療を受けられる可能性のある小陰茎患者さんに有益な情報提供が可能になると考えられます。

【方法】

長崎大学病院で小陰茎に対するテストステロン補充療法を受けられた患者さん方の日常診療で得られた医学的情報を後方視的に検討し解析します。

対象となる患者さん

2013 年 4 月 30 日から 2023 年 7 月 31 日の期間に、長崎大学病院で小陰茎に対するテストステロン補充療法を開始された患者さん方を対象とします。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・背景(年齢、性別、身長、体重、陰茎長、亀頭幅)
- ・既往歴、生活歴、家族歴、服薬歴、アレルギー歴
- ・検査結果(血液検査、画像検査)
- ・治療内容(テストステロン補充療法の実施回数、テストステロンの投与量)
- ・治療有害事象内容
- ・治療経過

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2024 年 8 月 29 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2025年 1 月 31 日

研究実施体制

研究責任者 長崎大学医歯薬学総合研究科 泌尿器科学 教授 今村 亮一

情報の管理責任者 長崎大学病院 病院長 尾崎 誠

問い合わせ先

機関名：長崎大学病院 泌尿器科・腎移植外科

氏名：原田 淳樹

住所：〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

電話：095 (819) 7340

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200

受付時間 : 月～金 8:30～17:00 (祝・祭日を除く)